

ICT 夢コンテスト 実践事例応募用紙 記入要領

<記入のヒント・評価のポイント付き>

以下の「記入要領(a)～(f)」と「各項目記入のヒント」「評価のポイント」を一読のうえ、応募用紙に実践事例をご執筆ください。

【記入要領】

- a) 「実践事例集」は2段組となっていますが、応募用の「実践事例応募用紙」は、1段組の用紙ですので、ご注意ください。
- b) 実践事例の記述は、「MS 明朝」「11ポイント」のフォントを使用してください。
また、46文字/行を目安としてください。
- c) 「実践事例応募用紙」にある以下の3つの項目は必ず記述してください。変更できません。
「1. ICT 活用の背景と目的・ねらい」
「2. 実践の内容（取組と工夫、実践の特長）」
「3. 実践の成果・課題（子どものどのような力が伸びたのか、子どもや教員はどう変わったか 等）」
- d) 上記(b)以外の階層項目は、以下の例を基本としてご使用ください。
(1)○○○○○○○
(2)○○○○○○○
・○○○○○○○○○○○
・○○○○○○○○○○○
- e) 実践事例に「参照 URL」や「QR コード」を使用することはできません。
※応募用紙上に記述されていない情報は審査対象外です。
- f) ご提出いただく実践事例は Word 文書で、必ず 1.5 ページ以上 2 ページ以内としてください。

【記入のヒント】

-----以下、応募用紙イメージ-----

実践タイトル	
--------	--

実践タイトルは、40文字以内で実践の特長を表したものを設定し、サブタイトルは付けない

1. ICT 活用の背景と目的・ねらい

この項目では、以下のような観点や視点を考慮して記述に含めるようにしてください。

- どんな背景があり、どのような課題を解決しようとしたものか？
- そのなかでの ICT 活用の位置づけは？
 - ・ 授業中のどういう場面で ICT を活用するのか？
 - ・ 単元指導のどの時限の授業で ICT を活用するのか？
 - ・ 課外活動での ICT 活用なのか？

2. 実践の内容（取組と工夫、実践の特長）

この項目では、どのような活動を行ったのかについて、その「取組」や「工夫した点」を具体的に記述してください。実践の様子がわかるような写真や分かりやすい図や表を、適宜利用して、読者に伝わりやすく記述してください。

3. 実践の成果・課題（子どものどのような力が伸びたのか、子どもや教員はどう変わったか 等）

この項目では実践の成果については、ICTを活用したことによる子どもや教員の変化を、具体的かつ客観的に記述するようにしてください。たとえば、子どもの行動変化、子ども自らが意識変化を表明したもの、子どもによる表現の内容変化などや、子どものどのような力が伸びたのかを具体的に記述してください。グラフや表などで変化を定量的に示すことができるとうさらに理想的です。

課題については、現時点で考えられる今後の課題や方針を記述するようにしてください。

-----ここまで、応募用紙イメージ-----

【評価のポイント】

<目的・場面・効果>

目的や場面に応じてICTを効果的に活用しているか。子どものどのような力が伸びたか、子どもや教員はどう変わったか等。

<先進性>

ICTの利用場面や利用方法等において、先進的、独創的、新奇的などの何れか、あるいは複数の特長をもつ工夫があるか。

<普及性>

課題への取組や工夫が同様の課題をもつ多くの人たちに気づきを与え、その実践に波及性、発展性あるいはその両方があるか。

<絆が深まったか>

実践の中で連携・協働・共感などに関わる活動が行われたか等。